

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ホテル業英会話 English for the Hotel Industry		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	演習		選択	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
初級英会話				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
中級英会話				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
ジェフ・シーマン	講師室	特になし	授業中に指示します	
授業の概要				
外国のホテルで働いているホテルマンたちが、実際の業務で使っている英会話についてマン日演習する。受講終了までに、ホテル英会話力を身につけ、実際に外国のホテルで自信を持って業務できるような英会話能力を身に付けられるよう授業を展開していく。				
授業の到達目標				
① 受講終了後には、実際に外国のホテルで自信を持って業務できるようにする。 ② 英会話能力やマナー等を身につけることができるようにする。				
授業の方法				
実際のホテルでの場を想定しながら、様々な場面におけるホテル業務英会話やマナー等について、ロールプレイング等を通してながら演習していく。				
学習の成果				
この授業を履修すると、あなたは ① 外国のホテル事情や文化の違いに気付くとともに、ホテル業務に必要な英会話を身につけ、実際の場面において使うことができる。 ② 日本と外国のホテルのそれぞれの素晴らしさを知り、世界で活躍できる国際人としての資質を身につけることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	授業説明等			
第2回目	意識調査とウォームアップ等			
第3回目	客室係業務に必要なボキャブラリートレーニング及び基本英会話			
第4回目	ポーター係としての文化的なマナーや心得			
第5回目	ホテル内のサービス語彙と実践及びお客さんからの質問に回答			
第6回目	ホテル施設設備について			

第7回目	ルームサービスについて	
第8回目	接客問題と解決策	
第9回目	バーでの接客	
第10回目	レストランでの接客法I	
第11回目	レストランでの接客法II	
第12回目	観光場所を案内する	
第13回目	お問い合わせ対応法	
第14回目	電話にてメッセージを受け取ったり、リダイレクト法	
第15回目	チェックアウト	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	授業に集中して、クラスメートと会話練習を良くする。
レポート	20%	テキストの課題について良く考えて文章を書く。
調査報告書		
小テスト	30%	ホテル業関係ボキャブラリーをよく覚えている。
中間・学期末試験		
発表内容（態度含む）	20%	ロールプレイングのとき仕事を良くできる。
その他		
教科書と参考図書		
At Your Service		
履修上の心得・ルール		
指導者や仲間と敬意をもち、誠実な態度で元気よく授業に参加してもらいたい。		